

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	沖縄県平和創造の森公園	対象年度	令和7年度
------	-------------	------	-------

【 目 次 】

I. 履行確認・評価

1. 維持管理業務		1
(1) 清掃		
(2) 保守・点検		
(3) 保安・警備		
(4) 小規模修繕		
(5) 備品購入		
(6) 防犯・防災対策		
(7) 料金徴収業務		
2. 運營業務		4
(1) 利用実績		
1) 利用者数等（又は入居率等）		
2) 施設稼働率		
3) 教室・イベント等参加者数		
(2) 運営企画		
(3) 受付・接客		
(4) 広報		
(5) 情報管理		
3. 自主事業		6

II. サービスの質の確認・評価 8

III. 財務状況の確認・評価 9

1. 事業収支	
(1) 収入	
(2) 支出	
2. 経営分析指標	

IV. 総合評価 11

1. 目標	
2. 評価結果	

附表 経営状況分析シート 12

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	沖縄県平和創造の森公園	対象年度	令和7年度
指定管理者	沖縄文化スポーツイノベーション株式会社 指定期間: 令和5年4月～令和10年3月	所管課	環境部 環境再生課

Ⅰ. 履行確認・評価

1. 維持管理業務

(1) 清掃

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
〈日常清掃〉 トイレを常に清潔に保つ。 トイレトペーパーのストック充実。 園内の清掃 (年度計画書P3) (事業計画書P60)	○	×	中央駐車場、多目的広場、東側のトイレの清掃、トイレトペーパーのストックを配置(毎日)。 ピロティのテーブル消毒、掃き掃除(毎日)、シャワー室清掃(週2)、駐車場の枯草掃除(適宜)	月報、現地調整の際に確認	事業計画のとおり実施された。	【現状分析】 ・良好に実施された 【課題】 ・無し
〈定期清掃〉 ○一般廃棄物処理業務として再委託 (年度計画書P6)	×	○	委託により実施	年度報告書で確認	事業計画のとおり実施された。	【現状分析】 ・良好に実施された 【課題】 ・無し

(2) 保守・点検

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
トイレ、シャワー室、遊具、園路、樹木等について、1日1回以上の日常点検を行う 浄化槽点検は業者に委託 電気保安点検は業者に委託 (年度計画書P3,6)	○	○	1日1回日常点検を実施。 浄化槽について、専門業者に委託し、中央浄化槽(毎月2回)と東側浄化槽(3カ月毎に1回)の点検を実施。 電気保安点検について専門業者に委託し、偶数月に実施。年次点検は4月実施。	月報及び年度報告書で確認	事業計画のとおり実施された。	【現状分析】 ・良好に実施された 【課題】 ・無し

(3) 保安・警備

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
機械、巡回警備業務を委託 (年度計画書P3,6)	×	○	閉園時間中、夜間1回の警備員による巡回を実施(時間不定期)。 お手植え木周辺はセンサー及びカメラ、タンク室と多目的広場倉庫はセンサーによる機械警備を実施(常時)。	月報及び年度報告書で確認	事業計画のとおり実施された。	【現状分析】 ・良好に実施された ・不審者等の異常は確認されなかった。 【課題】 ・無し

(4) 小規模修繕

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
日常点検によって故障箇所を確認し、修繕を実施 (年間2, 379千円) (年度計画書p6)	○	○	・東トイレ管理バルブ取替 ・洋式便器修繕 ・作業車修理 ・給水管改修工事(メーター周辺) ・刈払機修繕 ・事務所空調機修繕 ・乗用芝刈機 ・道路沿い高木剪定 ・東側トイレフラッシュバルブ取替 ・ブランコ破損修繕	月報、年度報告書、現地視察で確認	事業計画のとおり実施された。	【現状分析】 ・修繕費の執行率は99.86%で適切に実施された。 【課題】 ・トイレ施設を中心に老朽化に伴う修繕が発生している。

(5) 備品購入

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
備品購入の計画なし	×	×	備品購入なし	備品購入なし	－	【現状分析】 ・備品の管理・修繕が適切に行われた。 【課題】 ・劣化による補修が見られる。基本協定に基づき協議の上、対応していく。

(6) 防犯・防災対策

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
1日1回以上の日常点検によって危険箇所を確認。駐車場に不審者や不法投棄がないか巡回。警察や消防へ園内情報を共有し必要に応じてパトロール強化を依頼。防災訓練を年2回実施する。 (年度計画書P3)	○	×	日常点検によって園内の危険箇所や異常箇所を確認した。糸満警察署に赴き、パトロール強化の依頼を行い、周辺パトロールが実施されている。火災訓練を4月、防災訓練を11月に実施。	月報及び年度報告書で確認	事業計画のとおり実施された。	【現状分析】 ・概ね実施された 【課題】 ・無し

(7)料金徴収業務

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
○日々の売上は、受付業務完了後に売上金と釣銭金の確認を行い、経理本部へ報告し、売上金は定期的に指定銀行口座へ入金する。入金された売上金は経理本部において確認を行う(年度計画書P2)	○	×	多目的広場及びシャワー利用料金は、管理事務所の窓口で現金での前払いにより収受、レンタル品は施錠した集金BOXに自発的に料金を投入する形態で実施。売上金は金庫で保管し、月1～2回本部に提出。	月報及び年度報告書で確認	事業計画のとおり実施された。	【現状分析】 ・概ね実施された 【課題】 ・無し

(8)植栽管理

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
生物多様性、景観、防災、レクリエーション等、緑の持つ機能を十分に発揮させることを基本方針とし、人々が集い憩える施設造りを目指す。倒木等の発生予防を図るため、日常の維持管理作業時に折損、傾き、腐朽等の情報を収集し、収集した情報をもとに維持管理を行う(年度計画書P3)	○	×	・下刈、芝刈 利用者数の多い区画や園路沿いに優先順位を設定し、エリアごとに作業実施。利用者数の多い事務所周辺、多目的広場等は足元が視認できる草丈を維持するよう留意した。 ・樹木管理 利用者の視認性、安全性を確保するため剪定等を実施。リュウキュウマツにおいては松くい虫対策で薬剤散布を2回実施。 園内の樹木に樹名札を設置。 ・草花管理 園内の花壇に週2回散水と植栽管理を実施。中央入口花壇の整備や植え替えを実施。	月報及び年度報告書で確認	事業計画のとおり実施された。	【現状分析】 ・6月時点で、草刈等が不十分な状態が確認された。調整、指示の結果、草刈作業が行われ改善されたが、継続的な維持管理が必要である。 ・園内リュウキュウマツの集団的枝枯れが発生した。日頃からの状況確認及び情報共有を速やかに行う必要がある。 【課題】 ・作業員を一定数確保し、下草刈や枯死木撤去等を日常的に行う必要がある。 ・樹木医診断も含め、異常の早期発見、原因分析、対策を実施する必要がある。

1. 維持管理業務 取組改善案	施設や備品の老朽化に伴い、修繕等が必要となることが想定される。計画的に修繕を行いつつ、基本協定に基づき協議が必要な破損等が発生した場合は早急に調整を行う必要がある。 園内の植栽管理について、日常的な確認・管理を行いつつ、確認された異常等があれば状況に応じて樹木医診断も含めて、引き続き計画的に取り組むこと。
--------------------	--

2. 運営業務

(1) 利用実績

1) 利用者数等

			令和6年度実績	令和7年度 事業計画 (目標値)	令和7年度実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
						前年比	計画比	
利用者数	個人利用者数		65,447	63,323	83,992	128%	133%	【現状分析】 ・個人利用者数は、前年度比、計画比ともに増加した。 ・団体利用者数は目標値に未達。 【課題】 ・多目的広場の利用、自主事業などイベント参加者の増加が課題。
	団体利用者数	多目的広場	5,847	8,333	4,870	83%	58%	
		その他	5,855	13,344	5,144	88%	39%	
			11,702	21,677	10,014	86%	46%	
	計		77,149	85,000	94,006	122%	111%	

評価(①利用状況)	S
-----------	---

【評価基準（①利用状況）】
目標値に対する達成率
S：110%以上
A：100%以上、110%未満
B：80%以上、100%未満
C：80%未満

2) 施設稼働率

多目的広場	令和6年度実績	事業計画 (目標値)	令和7年度実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
				前年比	計画比	
平日稼働率	33% (62/190)	－	28% (53/189)	85%	－	【現状分析】 ・平日はほぼドローン訓練、土日祝はほぼサッカー練習の利用となっている 【課題】 ・更なる稼働率向上に向けて、特に平日の利用用途の提案が必要。
土日祝日稼働率	74% (86/116)	－	73% (87/119)	99%	－	
合計稼働率	48% (148/306)	－	45% (140/308)	94%	－	

施設稼働率を①利用状況の評価項目とする場合に本欄を使用する。

評価(①利用状況)	－
-----------	---

【評価基準（①利用状況）】
目標値に対する達成率
S：110%以上
A：100%以上、110%未満
B：80%以上、100%未満
C：80%未満

(2) 運営企画

事業計画	実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	(事業報告書)	(現地確認)		
〈開園日数〉 条例第9条のとおり	記載なし	308日 月報で確認	条例のとおり実施された	【現状分析】 ・良好に実施された 【課題】 ・無し
〈開園時間〉 条例第10条のとおり	記載なし	(夏期)4～8月 9:00～18:30 (冬季)9～3月 9:00～17:30	条例のとおり実施された	

(3) 受付・接客

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
・ニーズの多い施設については、ホームページからの予約を可能にする。 ・アンケートの回答率向上。 ・利用者アンケート回収件数は年間800件を目指し、より多くいただけるよう努力する。 (事業計画書P13、P15、P28)	○	×	・多目的広場の予約状況確認は、件数が少ないため電話による確認のみで運用。申請書の提出は、メール、ファックス、郵便、窓口持参によるものとして いる。 ・管理事務所及び多目的広場休憩所にアンケートボックスを設置、QRコードでのインターネット回答も実施した。回答者から抽選で優待券等を提供した。	年次報告書で確認	概ね事業計画のとおり実施された。	【現状分析】 ・アンケート回答数は347件 ・概ね良好に実施されたが、回収目標は達成できていない。 【課題】 ・アンケートの回答数向上のための取り組みを検討する必要がある。

(4) 広報

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
ホームページ、SNS、季刊誌等、各種媒体を活用して広報、宣伝を行う。プレスリリースを行い、琉球新報社、沖縄タイムスの記事広告を獲得する。SNSへ定期的に情報配信し、広告分析、媒体活用方法、費用対効果を検証する。	○	×	公式HPを開設・運営し、公園に関する情報を掲載した。Instagramから公園の風景やイベント情報を発信した。イベント情報については、副読誌「タイムス住宅新聞」や近隣自治体、教育機関、糸満市生涯学習センター、道の駅いとまんに掲載依頼を行った。 月に1回、ニュースレターを作成し、園内掲示板、HP、Instagramに掲載。	年次報告書、各媒体で確認。	事業計画のとおり実施された。	【現状分析】 ・様々な媒体で周知が行われている (Instagramのフォロワー256人、投稿数累計262件) 【課題】 ・公園の認知度向上にむけて、継続的な情報発信、イベント等に合わせた工夫を行う必要がある。

(5) 情報管理

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
利用申請書類等は個人情報であるため、書庫で適切に保管する。	○	×	利用申請書等は管理事務所内の書庫で適切に保管した。	年次報告書で確認	事業計画のとおり実施された。	【現状分析】 ・良好に実施された 【課題】 ・無し

3. 自主事業

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
星空観察会	○	○	①4/19悪天候のため中止。 ②8/15実施。 戦後80年を迎え、三線の音色を聞きながら星を見上げ平和を想う。 参加52名 ③10/18実施。 「星空観察」による大気環境の調査活動の実施を通じて、人間活動と大気環境との関係を考えてもらう機会とする。 参加188名 ④11/24実施 土星の環消失現象、秋の星座にまつわる講話を聞きながら自然に触れ合う。 参加22名 ⑤12/13実施 冬のふたご座流星群は、流れる星の数が多い。冬の星座の解説を聞きながら流星群を観察。 参加32名 ⑥3/3実施 皆既月食を観察する。 参加38名	年次報告書で確認	事業計画書から追加で実施された。	【現状分析】 ②30名程度見込のところ52名参加。 収入:109,800円 支出:98,820円 ③実施主体は沖縄県地域環境センター(沖縄こどもの国)と協働 ④13歳以上17名、12歳以下5名の参加。 収入:45,000円 支出:40,500円 ⑤13歳以上23名、12歳以下9名の参加。 収入:66,800円 支出:60,120円 ⑥13歳以上33名、12歳以下5名の参加。 収入:69,200円 支出:62,280円 【課題】 ・無し
春のチョウ類自然観察会	○	×	5/17実施。 園内を散策しながらチョウ類について解説。 “春の”⇒“夏の”に変更 参加5名	年次報告書で確認	事業計画書のとおり実施された。	【現状分析】 ・募集人数10名に対し、5名参加 収入:5,000円 支出:2,000円 【課題】 ・定員に達していない。
樹木自然観察会	○	×	8/2実施 園内を散策しながら見つけた樹木について調べる。 参加3名	年次報告書で確認	事業計画書のとおり実施された。	【現状分析】 ・募集人数15名に対し、3名参加 収入:3,000円 支出:2,000円 【課題】 ・定員に達していない。
帰化植物自然観察会	○	×	9/20実施 入ってきた背景、自生種との関係など、帰化植物ならではの勢力拡大の秘密を探る。 参加3名	年次報告書で確認	事業計画書のとおり実施された。	【現状分析】 ・募集人数10名に対し、3名の参加 収入:3,000円 支出:2,000円 【課題】 ・定員に達していない。
食べられる野草自然観察会	○	×	1/17実施 園内を散策しながら食べられる春の野草、毒植物の観察。 参加9名	年次報告書で確認	事業計画書のとおり実施された。	【現状分析】 ・募集人数10名に対し、9名参加 収入:9,000円 支出:2,000円 ・新聞等での告知、近隣への配布により参加者増加に一定の効果があつたと考えられる。 【課題】 ・無し

平和学習	○	○	2/26実施 「ペアーレ楽園・幸寿 大学校」との共同企 画。当園近隣の戦跡を 巡り、戦争の悲惨さ、 平和の大切さを学ぶ。 参加16名	年次報告書で確認	事業計画書のと おり実施された。	【現状分析】 ・共同企画として良好に実施された。 【課題】 ・無し
ハイビスカスの栽培 と咲かせ方	○		未実施 日程調整つかず、実 施に至らなかった。	年次報告書で確認	実施できていない	【現状分析】 ・実施されていない。
アダン根の筆づくり	○		未実施 日程調整つかず、実 施に至らなかった。	年次報告書で確認	実施できていない	【現状分析】 ・実施されていない。
ブーゲンビレアの 咲かせ方	○		未実施 日程調整つかず、実 施に至らなかった。	年次報告書で確認	実施できていない	【現状分析】 ・実施されていない。
秋のチョウ類自然 観察会	○		未実施 日程調整つかず、実 施に至らなかった。	年次報告書で確認	実施できていない	【現状分析】 ・実施されていない。
ウォーキングイベン ト	○		未実施 日程調整つかず、実 施に至らなかった。	年次報告書で確認	実施できていない	【現状分析】 ・実施されていない。
苗植え体験	○		未実施 日程調整つかず、実 施に至らなかった。	年次報告書で確認	実施できていない	【現状分析】 ・実施されていない。
与那国馬ふれあい 体験	○		未実施 日程調整つかず、実 施に至らなかった。	年次報告書で確認	実施できていない	【現状分析】 ・実施されていない。
盆景作り体験	○		未実施 日程調整つかず、実 施に至らなかった。	年次報告書で確認	実施できていない	【現状分析】 ・実施されていない。
はじめてのキャンプ 体験会	○		未実施 日程調整つかず、実 施に至らなかった。	年次報告書で確認	実施できていない	【現状分析】 ・実施されていない。
マルシェ	○		未実施 日程調整つかず、実 施に至らなかった。	年次報告書で確認	実施できていない	【現状分析】 ・実施されていない。
有用植物自然観察 会	○		未実施 日程調整つかず、実 施に至らなかった。	年次報告書で確認	実施できていない	【現状分析】 ・実施されていない。
ワンフェス	○		未実施 日程調整つかず、実 施に至らなかった。	年次報告書で確認	実施できていない	【現状分析】 ・実施されていない。
有料レンタル(通 年)	○	×	草ソリ、ボール等の貸 出 149名	年次報告書で確認	事業計画のと おり実施された	【現状分析】 ・概ね実施された。
更衣室の貸出(通 年)	○	×	事務所横休憩更衣室 の貸出 利用なし。	年次報告書で確認	実施できていない	【現状分析】 ・利用者なし。

2. 運営業務 3. 自主事業 取組改善案	【2. 運営業務】 利用者は、個人利用者数が目標値比133%と大幅に増加したが、多目的広場利用者等の団体利用者数は低い達成率となっており、多目的広場の稼働率は前年度比でやや減少している。多目的広場等の新たな利活用の方法について、検討・提案が必要である。 【3. 自主事業】 星空観察については、公園の立地等を活かし安定的なイベントとして実施できている。当初の事業計画書から多くの事業が実施できていないため、周辺自治体や施設への周知といった広報を継続しつつ、より計画的に実施すること。
-----------------------------	---

評価項目		第三者(利用者等)評価			指定管理者	現状分析・課題	
		令和6年度評価	令和7年度目標	令和7年度評価			
維持管理業務	施設・設備管理	〈満足度〉91% 満足 67% やや満足24% やや不満 1% 不満 1%	〈満足度〉80%	〈満足度〉93% ・満足66% ・やや満足27% ・やや不満4% ・不満3%	S	(要望への対応) 噴水エリアの石垣や水車エリアへは立入禁止標記をし、自社対応可能な修繕については、早めの対応を心掛けた(自己評価) トイレ故障については早急に対応した。噴水等については、引き続き協議を続ける	【現状分析】 ・施設、設備管理の満足度は高い 【課題】 ・経年劣化による修繕が増加することが予想されるため、巡回等による早期発見に努め、優先順位をつけて計画的に修繕対応を行う必要がある。
				〈改善要望〉 ・噴水、水車の修繕 ・トイレ故障、躯体の修繕			
運営業務	接客対応	〈満足度〉95% 満足 78% やや満足17% やや不満 0% 不満 0%	〈満足度〉80%	〈満足度〉96% ・満足79% ・やや満足17% ・やや不満1% ・不満2%	S	(要望への対応) 無し (自己評価) 好評いただいた	【現状分析】 ・接客対応の満足度は高い 【課題】 ・無し
	施設・設備	〈満足度〉90% 満足 69% やや満足 21% やや不満 3% 不満 1%	〈満足度〉80%	〈満足度〉94% ・満足74% ・やや満足20% ・やや不満3% ・不満2%			
	利用条件	〈満足度〉88% 満足 65% やや満足 23% やや不満 5% 不満 1%	〈満足度〉80%	〈満足度〉93% ・満足71% ・やや満足22% ・やや不満4% ・不満2%	S	(要望への対応) 無し (自己評価) 好評いただいた	【現状分析】 ・利用条件の満足度は高い 【課題】 ・無し
自主事業		〈満足度〉87% 満足 66% やや満足 21% やや不満 5% 不満 3%	〈満足度〉80%	〈満足度〉97% ・満足77% ・やや満足20% ・やや不満3% ・不満0%	S	(要望への対応) SNSに加え、近隣自治体や教育機関(学童等含む)、糸満市生涯学習支援センター、道の駅等に広報依頼(自己評価) 実施事業については、好評いただいた	【現状分析】 ・自主事業の満足度は高い 【課題】 ・効果的な周知方法について検証しつつ、参加者増加に努める必要がある。
				〈改善要望〉 ・PRをもっとすべき			
総合評価 (各評価項目の平均)		〈満足度〉90%	〈満足度〉80%	〈満足度〉95%	評価 (②満足度) S	(自己評価) 概ね好評いただいた。 指摘事項は、早急に対応していく。 自主事業では、県内新聞副読誌の無料広告欄を活用するなど、PRに努める	【現状分析】 ・満足度は総じて高い 【課題】 ・無し

Ⅱ. サービスの質 の確認・評価 取組改善案	アンケート回答者の満足度は総じて高い。緑地が大半の面積を占める公園であるため、草刈りや芝の整備については、満足度に大きく影響すると思われる。アンケートの内容は早急に確認しつつ、計画的に対応すること。 施設の修繕等については、基本協定に基づき対応し、県と協議を行う必要がある案件については、早急に連絡・調整をおこなうこと。
---------------------------------------	---

Ⅲ. 財務状況の確認・評価

1. 収支

(1) 收入

収入項目		令和6年度実績	事業計画(当初)	事業計画(変更後)	令和7年度実績	前年比		計画比		特記事項(変更理由等)
						(金額)	(%)	(金額)	(%)	
利用料金収入	多目的広場	374,400	300,000	-	303,000	-71,400	81%	3,000	101%	
	広場休憩所(シャワー利用)	0	0	-	0	0	0%	0	0%	
	計	374,400	300,000	-	303,000	-71,400	81%	3,000	101%	
指定管理料		32,149,000	32,145,000	-	33,774,000	1,625,000	105%	1,629,000	105%	物価高騰対策による増額
自主事業収入	備品貸出	14,000	40,000	-	14,900	900	106%	-25,100	37%	
	イベント	270,600	960,000	-	310,800	40,200	115%	-649,200	32%	
	自動販売機	0	50,000	-	153,955	153,955	-	103,955	-	
	計	284,600	1,050,000	-	479,655	195,055	169%	-570,345	46%	
合計(A)		32,808,000	33,495,000	-	34,556,655	1,748,655	105%	1,061,655	103%	
〔現状分析・課題〕										
【現状分析】 ・多目的広場の利用料金収入は、サッカーやドローン講習会の利用に伴い計画額に達した。 ・自主事業は前年度比増である。一方でイベント未実施等により計画額に達しなかった。										
【課題】 ・自主事業の募集方法の工夫及び計画的な実施。										

(2) 支出

[illegible]

2. 経営分析指標

評価指標	令和6年度実績	事業計画(当初)	事業計画(変更後)	令和7年度実績	前年比		計画比		特記事項(変更理由等)
					(金額)	(%)	(金額)	(%)	
事業収支(C) (収入(A)－支出(B))	288,017	67,000	－	779,970	491,953	271%	712,970	1164%	
収益率 (事業収支(C)／収入合計(B))	0.88%	0.20%	－	2.26%		257%		1128%	
利用料金比率 (利用料金収入／収入(A))	1.14%	0.90%	－	0.88%		77%		98%	
人件費比率 (人件費／支出(B))	55.7%	53.1%	－	48.4%		87%		91%	
外部委託費比率 (外部委託費合計／支出(B))	12.4%	15.5%	－	11.7%		94%		76%	
利用者あたり管理コスト (支出(B)／利用者数)	422	393	－	359	-62	85%	-34	91%	
利用者あたり自治体負担コスト (指定管理料／利用者数)	417	378	－	359	-57	86%	-19	95%	
〈現状分析・課題〉 【現状分析】 ・物価高騰対策による指定管理料増加のため、収入比が大きく増加している。 【課題】 ・無し									

評価(③財務状況)	A	【評価基準（③財務状況）】 収益率（事業収支／収入合計） A： 0%以上 B： -5%以上、0%未満 C： -5%未満
-----------	---	--

Ⅲ. 財務状況の確認・評価 取組改善案	自主事業による収入が、計画比で減少となっている。 当初計画を達成できるよう自主事業の周知、実施方法について検討を行う必要がある。
------------------------	---

【経営分析指標の評価の考え方】

評価指標	計算方法	評価の考え方
事業収支	収入－支出	事業収支がマイナスの場合、継続性の面で課題となるため、県、指定管理者で協力して黒字化のための方策を協議する必要がある。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。
収益率	事業収支／収入	計画、過年度実績、類似施設と比較して、安定したものとなっているか、適切な範囲内となっているか確認する。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※計画等に対し上昇している場合、必要な変動費が十分に充てられているか確認すること。また、計画等に対し減少している場合、当初の収支見込が適切であったか精査すること。
利用料金比率	利用料金収入／収入	指定管理者の主な収入源がどこにあり、それが安定したものであるのかを確認する。 ※過年度実績に対し増減がある場合には、利用料金そのものの増減によるものか、自主事業等其他収入の増減によるものかなど、その要因を整理すること。
人件費比率	人件費／支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※変動がある場合には、人件費そのものの増減によるものか、その他支出項目の増減によるものか、その要因を整理すること。 ※人件費の減少がある場合には、それにより効率性が低下していないかを確認する。また、人件費の増加がある場合には、求められる管理水準に対し必要な措置か確認すること。
外部委託費比率	外部委託費合計／支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※増減がある場合には、外部委託の範囲が仕様書等に定める適切な範囲内となっているか、外部委託の活用が業務の効率化に繋がっているか確認する。
利用者あたり管理コスト	支出／利用者数	利用者1人に対する管理コストについて、過年度実績や類似施設と比較することにより、当該施設の効率性を確認する。(コストが抑えられていても利用者が減少していないか、あるいは利用者は増加しているがコストがかかり過ぎていないかなど) ※変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※過年度に対し上昇している場合、現状の利用者数に対して支出が過大になっていないか確認する。また、過年度に対し減少している場合、現状の利用者数に対し、必要な変動費が十分に充てられているか確認する。
利用者あたり自治体負担コスト	指定管理料／利用者数	利用者1人に対する県の財政負担を確認する。 過年度実績や類似施設との比較により、当該施設の効率性を確認する。

Ⅳ. 総合評価

1. 目標

評価項目		評価指標	令和8年度	令和9年度	令和11年度	令和12年度	目標設定の考え方
成果指標	①利用状況	利用者数	90,000	90,000	95,000	95,000	指定管理期間は指定管理者が目標を設定し、A評価以上を目標
	②満足度	満足度	80%	80%	80%	80%	80%以上 A評価を目標
財務指標	③財務状況	収益率	0%	0%	0%	0%	0%以上 A評価を目標

2. 評価結果

評価項目		評価指標	令和6年度実績	事業計画(目標値)	令和7年度実績	前年比	計画比	現状分析・課題	評価(点数)	取組改善案	令和8年度目標値
成果指標	①利用状況	利用者数	77,112	85,000	94,006	122%	111%	【現状分析】 ・目標値、前年比ともに上回った ・個人利用者の増が主な要因 【課題】 ・多目的広場稼働率、団体利用者数の増に向けた取組	S (20)	・多目的広場稼働率及び団体利用者数は減少しているため、新たな利用方法の検討・周知する。	90,000
	②満足度	満足度	90%	80%	95%	106%	119%	【現状分析】 ・利用者の満足度は高い 【課題】 ・施設整備、維持管理について、アンケートで要望がでている	S (20)	・アンケートでの要望について、早急に確認を行い、日常的な維持管理につなげる。	80%
財務指標	③財務状況	収益率	0.88%	0.00%	2.26%	-	-	【現状分析】 ・収益率は目標値を達成している 【課題】 ・自主事業の収入は、計画未達	A (5)	自主事業による収入が計画未達であり、当初計画を達成できるよう自主事業の周知、実施方法について検討を行う必要がある。	0.00%
活動指標	④重点取組事項	アンケート回収件数	214	800	347	162%	43%	【現状分析】 ・前年度比増加 ・目標件数未達 【課題】 ・来園者数に比べ、回答者数が少ない	B (0)	・引続き、QRコードによるアンケート実施も行いつつ、園内の掲示箇所を増やす。 ・イベント等の参加者への配布は、関係資料等と併せて始めに配布しておく。	800
総合評価		・園内利用者数過去最高を更新することができた。 ・施設老朽化に伴う修繕や光熱水費高騰の影響があるなか、計画的に支出・削減が取り組んでいる。 ・各項目においては計画未達、前年比減がみられるため、引き続き改善に取り組んでいただきたい。							S (45)		

【評価基準】

①利用状況

目標値に対する達成率

S：110%以上

A：100%以上、110%未満

B：80%以上、100%未満

C：80%未満

②満足度

総合評価における満足度（各評価項目の平均値）

S：90%以上

A：80%以上、90%未満

B：70%以上、80%未満

C：70%未満

③財務状況

収益率（事業収支／収入合計）

A：0%以上

B：-5%以上、0%未満

C：-5%未満

④重点取組事項

目標に対する評価

S：目標を大きく上回る

A：目標を概ね達成

B：目標を下回る

C：目標を大きく下回る

【各評価項目点数】

	① 利用状況	② 満足度	③ 財務状況	④ 重点 取組事項
S	20	20	—	10
A	10	10	5	5
B	0	0	0	0
C	-10	-10	-5	-5

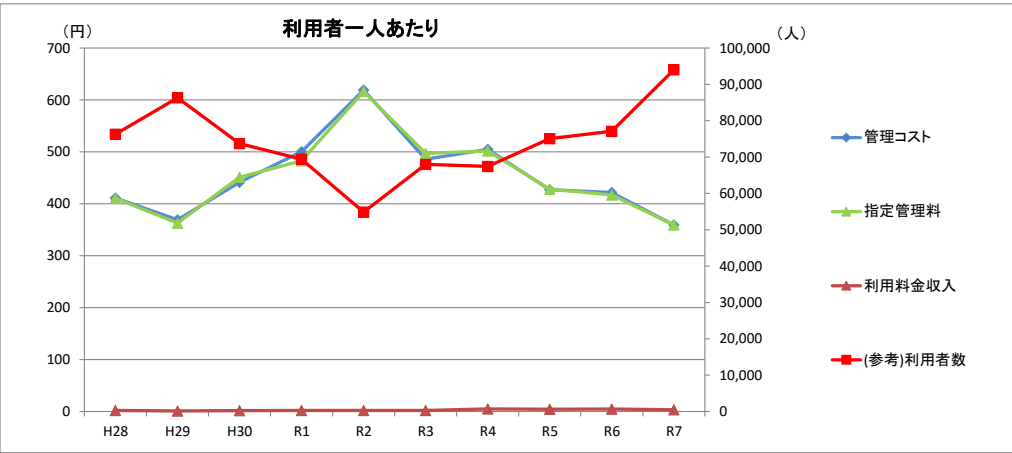
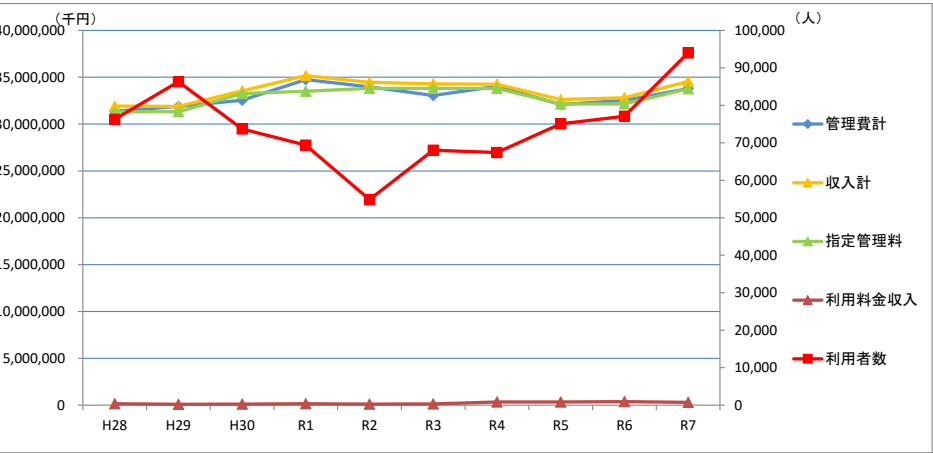
【総合評価基準】

	総合評価基準	
S	40点以上	かつ各評価項目においてC評価がないこと
A	25点以上	
B	10点以上	
C	5点以下	

経営状況分析シート【施設名称:沖縄県平和創造の森公園】

指標			直営		指定管理																					
			単位	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
成果指標	利用者数	目標	人	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	63,000	66,000	69,000	73,000	76,000	75,000	80,000	85,000	
		実績	人	107,300	110,359	111,680	123,633	99,030	71,708	57,043	59,254	60,322	76,323	72,784	76,305	86,308	73,711	69,406	54,870	68,026	67,403	75,088	77,112	94,006		
		目標比	%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	105%	80%	93%	89%	100%	96%	111%		
		H17比	%	—	103%	104%	115%	92%	67%	53%	55%	56%	71%	68%	71%	80%	69%	65%	51%	63%	63%	70%	72%	88%		
財務指標	指定管理料	千円	—	—	—	—	32,000,000	—	32,000,000	30,975,000	30,975,000	31,860,000	31,320,000	31,320,000	31,320,000	33,264,000	33,507,000	33,814,000	33,814,000	33,814,000	32,153,000	32,149,000	33,774,000			
	県負担割合(指定管理料／管理費計)	%	—	—	—	—	100.0%	—	99.9%	99.3%	98.1%	99.5%	99.5%	99.8%	98.2%	102.2%	96.4%	99.5%	102.3%	99.4%	100.2%	98.9%	100.0%			
	利用料金収入	千円	—	—	—	—	164,000	—	192,000	158,300	169,050	146,400	172,250	149,150	93,550	120,200	150,100	114,700	132,100	332,000	336,400	374,400	303,000			
	利用料金比率(利用料金収入／収入計)	%	—	—	—	—	0.5%	—	0.6%	0.5%	0.5%	0.4%	0.5%	0.5%	0.3%	0.4%	0.4%	0.3%	0.4%	1.0%	1.0%	1.1%	0.9%			
	雑入等	円	0	—	—	—	0	—	0	0	299,165	552,267	719,261	30,850	31	93	970,062	83	75	32	0	0	0			
	収入計	千円	0	—	—	—	32,164,000	—	32,192,000	31,484,753	31,782,973	32,558,667	32,211,511	31,921,716	31,887,784	33,548,421	35,174,987	34,453,749	34,286,898	34,263,032	32,612,800	32,808,000	34,556,655			
	管理費計	千円	35853000	—	—	—	32,000,000	—	32,017,000	31,190,271	31,581,811	32,006,400	31,492,250	31,379,805	31,880,987	32,539,175	34,745,236	33,966,880	33,051,752	34,032,157	32,087,743	32,519,983	33,776,685			
	収支	千円	—	—	—	0	164,000	—	175,000	294,482	201,162	552,267	719,261	541,911	6,797	1,009,246	429,751	486,869	1,235,146	230,875	525,057	288,017	779,970			
	収益率(収支／収入計)	%	—	—	—	0.51%	0.51%	—	0.54%	0.94%	0.63%	1.70%	2.23%	1.70%	0.02%	3.01%	1.22%	1.41%	3.60%	0.67%	1.61%	0.88%	2.26%			
	/単位	一人あたり管理コスト	円	—	—	—	0	323	0	561	526	524	419	433	411	369	441	501	619	486	505	427	422	359		
		一人あたり指定管理料	円	—	—	—	0	323	0	561	523	513	417	430	410	363	451	483	616	497	502	428	417	359		
		一人あたり利用料金収入	円	—	—	—	0	2	0	3	3	3	2	2	2	1	2	2	2	2	5	4	5	3		

※施設の特性に応じて、経営状況の分析に適した指標の追加・削除や、表示方法の修正を行うこと。
※グラフは直近10年間の実績で作成すること。指定管理者制度導入前に直営の期間がある施設については、指定管理者制度導入直前1年間のデータも含めて作成すること。



実績変動の要因分析

令和7年度	個人利用者が増加し、利用者数は大きく伸びたが、団体利用者は伸び悩んでいるため利用料金等収入は減少している。
令和6年度	昨年度に続き、個人利用者が増加したことで、利用者数全体も増加した。これに伴い、利用者一人あたりの管理コストが下がっている。
令和5年度	個人利用者が増加し、利用者数は、新型コロナウイルス感染症が蔓延する前の水準まで戻りつつある。
令和4年度	前年度から団体利用者数は回復傾向にある一方、個人利用者数が伸び悩んだ。